

研究課題番号	1-2204
研究課題名	海洋流出マイクロプラスチックの物理・化学的特性に基づく汚染実態把握と生物影響評価
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	鈴木 剛

1. 委員の指摘及び提言概要

海洋プラスチックの調査や分析により、マイクロプラスチック汚染の実態把握がより明確に示されるものと期待する。生態への影響などの取り組みも行われ、概ね順調に進捗している。マイクロプラスチック汚染の実態把握がより明確に示されるものと期待する。サイズ別の前処理・測定については、当初計画より変更はあったが、概ね計画通りに進展している。サブテーマ1の現場でのMP濃度は個数/m³で評価されているのに対して、サブテーマ2の生物影響の試験は、g/Lと異なる単位が使われている。NOECと現場濃度との比較をすることが計画されているが、この不一致を解決する必要がある。

2. 採点結果

評価ランク：A